

# 金融教育を考える

## 第3回小論文コンクール

### あなたの意見を聞かせてください

近年、金融自由化や社会保障制度の改革など、私たちを取り巻く「金融」「経済」に関する情勢は、めまぐるしいスピードで変化しています。

従来にも増して自己責任が問われるなか、金融商品やサービスのメリットを十分享受し、金融を巡るトラブルやリスクを回避するには、正しい金融経済知識を身に付けることが必要です。

同時に、健全な金融・経済感覚をもち、計画的な生活設計を行える児童生徒を育成することの重要性が高まっています。

そこで、今後、「金融教育」をどのように展開すべきかを考えるため、教育の現場からの、金融経済教育に関する実践報告、研究結果、提言を広く募集します。先生、研究者の方々からの応募をお待ちしております。

テーマ：金融経済教育に関する実践報告や研究結果、提言など。

9月30日(土)締め切り

#### 金融広報中央委員会とは？

「金融広報中央委員会」(事務局：日本銀行情報サービス局内)は、健全で合理的な家計運営のために、都道府県金融広報委員会、政府、日本銀行、地方公共団体と協力して、中立・公正な立場からの正確でわかりやすい「金融経済情報の提供」と一人ひとりが賢い消費者として自立するための「金融経済学習の支援」を積極的に展開しています。

マネー情報 **知るほると** 金融広報中央委員会

[www.shiruporuto.jp](http://www.shiruporuto.jp)

〔主催〕金融広報中央委員会

〔後援〕金融庁、文部科学省<sup>※</sup>、日本銀行<sup>(※申請中)</sup>

# ◎「金融教育を考える」第3回 小論文コンクール 募集要項

2006年テーマ

金融経済教育に関する実践報告や研究結果、提言などの小論文。タイトルは自由。

[応募資格] 全国の幼稚園教諭、小学校・中学校・高等学校教師、大学院生、大学教官等研究者

[賞] ●特賞 1編(賞状と賞金20万円)  
●優秀賞 2編(賞状と賞金5万円)  
●奨励賞 5編(賞状と賞金1万円)

[応募のきまり] 2,000～8,000字(パソコン可)  
作品タイトル、勤務先名、氏名(ふりがな)、年齢、性別、勤務先および自宅の住所・電話番号を下記の応募用紙に記入し、添付のこと。  
なお、本文冒頭1行目に作品タイトル、2行目に氏名を記入してください。  
※応募用紙はコピー可。ホームページからもダウンロードできます。

[注意] 作品は未発表で日本語に限ります。作品は理由を問わず返却しません。入賞作品の著作権・版権は主催者に帰属します。  
写真・図表・指導計画書などの資料添付可。ただしA4用紙10枚(A3用紙の場合5枚)以内とします。  
本文中の引用および添付資料については、出所(著者、書名、出版社、出版年、引用ページ、ホームページ名・アドレス等)を必ず明記してください。

[締め切り] 平成18年9月30日(土)※消印有効

[発表] 12月下旬、金融広報中央委員会HP(www.shiruporuto.jp)などで発表。※入賞作品集は平成19年2月発行予定。

[審査員] 阿部信太郎(城西国際大学専任講師) 宇都宮健児(弁護士) 工藤文三(国立教育政策研究所初等中等教育研究部長)  
(敬称略・五十音順) 西村隆男(横浜国立大学教授) ほか

[表彰式] 日本銀行本店内にて開催

[送付先] 〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋1-1-1 パレスサイドビル内郵便局留  
「金融教育を考える」小論文コンクール係

[問い合わせ先] TEL.03-3212-6165(土・日・祝日を除く10時～17時)

※応募者の個人情報は当コンクール以外の用途には使用いたしません。

「金融教育を考える」第3回 小論文コンクール 応募用紙		
作品タイトル	勤務先(所属先)名 (ふりがな)	
名前 (ふりがな)	年齢	性別 男 ・ 女
勤務先(所属先)住所 〒 —	都道 府県	
勤務先(所属先)電話番号		
自宅住所 〒 —	都道 府県	
自宅電話番号		

※応募に際し下記内容に相違なければ必ず  に  を入れてください。

この作品は当コンクールのために私が執筆した未発表のものです。

事務局記入欄